

ポーランド バルト三国の旅

2014/6/18～6/27



Poland
ワルシャワ旧市街
古都 クラクフ



Lithuania
カウナス



Latvia
リガ



Estonia
タリン街並み

2014年10月4日 宮田

旅のきっかけはバルト三国の音楽祭を観たい
1991年8月独立、その前後の歌の祭典映像をTVで観る⇒そこに参加したい
→ そのようなツアーはない

もしかしてちょっと近づける・・・？

今回のツアー30名、平均年齢71.5歳
80歳以上5名 最高齢 85歳

ポーランド:アウシュヴィッツ⇒ はるかに大きな宿題を負う
知らないことが多すぎる

リトアニア:命のビザ 杉原千畝氏の業績
最高齢 85歳の方がまとめた資料を参考に

ラトビア:「百万本のバラ」の原曲をもっと知りたい

エストニア:歌の原へ (歌と踊りの祭典映像)

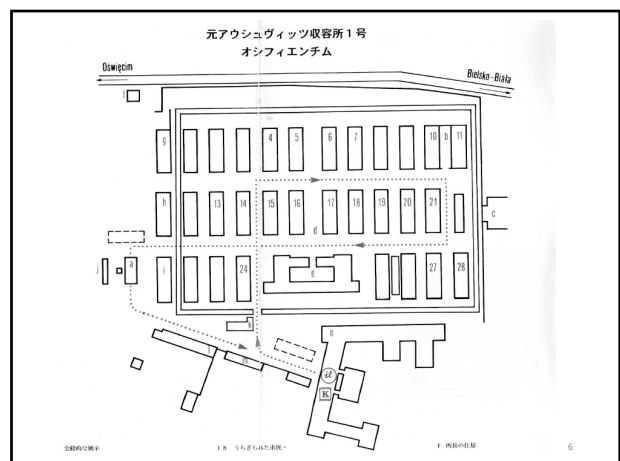
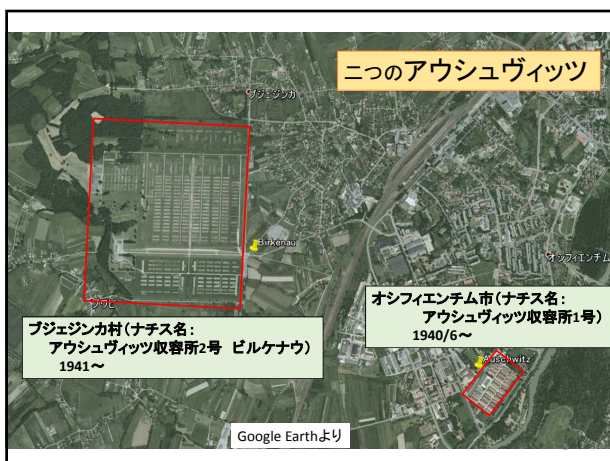
参考資料

ドイツ現代史の正しい見方 セバスチャン・ハフナー著 瀬野文教訳 草思社
Historische Variationen

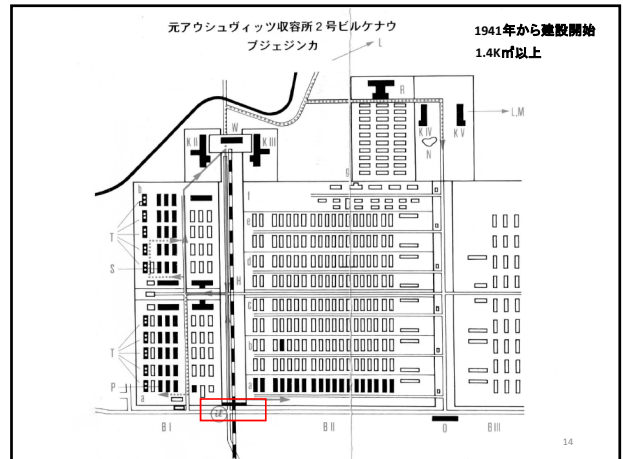
NHK TV

11 (期)	12 (期)	13 (期)	14 (期)
11 (期)	12 (期)	13 (期)	14 (期)

現代ドイツ 三島憲一著 岩波新書
物語 バルト三国の歴史 志摩園子著 中公新書
命のビザ 杉原幸子著 大正出版
杉原千畝ガイドブック(杉原記念館にて)
子や孫に伝えたい杉原千畝氏 小谷雅明著(ツアー参加者)
アウシュヴィッツ ビルケナウ 案内書
エストニア紀行 梨木香歩著 新潮社
他







収容所などとの生易しい言葉ではなく
絶滅処理場！

アウシュビッツでの犠牲者数

ユダヤ人	110万人
ポーランド人	14万人～15万人
ロマ人	2.3万人
ほか	4万人
推定計	130万人

ラインハルト作戦

収容所名	作戦期間	虐殺数
ベウジェツ強制収容所	1942年3月 - 1942年12月	60万人
ソビボル強制収容所	1942年4月 - 1943年10月	25万人
トブレリンカ強制収容所	1942年7月 - 1943年8月	87万人

ユダヤ人犠牲者数

	戦前のユダヤ人人口	最小被害者数	最大被害者数 ^[3]
合計	9,067,000	4,869,860	5,894,716

(Wikipedia)

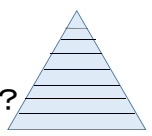
19

何故？

組織のHierarchyでここまで可能？

だれも止められない？

だれも知らない？



20

(まとめ)

無関心

沈黙という加担

見て見ぬふり

事実を知った時には個人レベルで
対処できないところまで来ている

権力者の暴走を防ぐ 情報開示のしくみ

「沈黙の加担」を意識させる教育の必要性

時代の波に乗りこまれないようにする個々人の意識

21

アウシュヴィッツ平和博物館

アウシュヴィッツハイワクブツカン



ユネスコ世界遺産「アウシュヴィッツ収容所跡」を保存するポーランドの国立博物館から提供された犠牲者の遺品・記録写真・関連資料を常設展示する日本で唯一の博物館です。

市民ボランティアが非常利で運営する当館は、戦争の惨禍を通して、いのちの尊厳と平和の価値を学び、伝えていきます。江戸時代中期の古民家を移築した展示室も必見。

200余年の風雪に耐えた柱や梁からもいのちの鼓動が伝わってきます。また、「アンネ・フランク」の関連写真は国内屈指のコレクションです。

アウシュヴィッツ平和博物館
〒961-0835 福島県白河市白坂三輪台245
TEL 0248-28-2108 / FAX 0248-21-9068

22

リトアニア

歌と踊りの祭典



リトアニアは歌の国です。歴史の物語からは、リトアニアが特に歌に満ちた国であり、フォーゲノクが入りの人生とともにある美しいものであるということが伝わってきます。また、1,000年も昔から伝わる歌をいまだに耳にすることができ、まさに歌こそがリトアニアの精神を伝承し、やなスタルジックな国民性を最もよく反映していると言えるでしょう。

23

ラトビア 2008年 歌と踊りの祭典



日本ラトビア音楽協会より

24



バルト三国における歌と踊りの祭典

伝統となった祭典はその人の祖国との連帯のために、個人の創造的自己表現、国民文化の活力、人間愛の賞賛であり、世代を超えた共通の価値観の育成に貢献している

年月を経て、より芸術的なプログラム、参加者や視聴者の共通する美的基準に沿って結晶化されてきた

リトアニアの歌と踊りの祭典ガイドより

26

歌とともに闘う革命

2003年、ユネスコは
バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)の
歌と踊りの祭典を世界無形遺産に指定

27

そして今

ウクライナ問題が新たな不安を起こしている

28

リトアニア

命のビザ

6千人の命を救った杉原千畝氏の物語



カウナスの
日本領事館

29



(Google Street View)より

Lithuania カウナス 旧日本領事館 杉原千畝記念館

30

命のビザ 時代背景

1934/8 ヒンデンブルク大統領死去しヒトラーは絶対者に
 1935/9 ニュールンベルク法成立により大規模にユダヤ人攻撃開始
 1936/11/25 日独防共協定
 1938/3 ドイツ語圏統合へ向けてオーストリア併合
 1939/8/23 独ソ不可侵条約
 密約でドイツとソ連によるポーランドの分割とバルト三国のソ連邦への併合

1939/8/末 ヘルシンキからリトアニア カウナスの日本領事館へ領事代理赴任
 元々モスクワの日本大使館赴任発令が出ていたがソ連が拒否⇒ヘルシンキの
 公使館通訳として派遣され着任後代理公使になっていた

1939/9/1 ナチス・ドイツ ポーランド侵攻
 1939/9/17 ソ連軍ポーランド介入(すでに勝敗決まった後のこと)
 1940/5,6 ナチス・ドイツ 仏・オランダ・ベルギー・ルクセンブルク侵攻
 1940/6 ソ連軍バルト三国占拠開始
 1940/8/3 リトアニア 8/5 ラトビア 8/6エストニア ソ連邦へ ↓ **このころのわずかな期間の出来事**
 1941/6/22 ナチス・ドイツ ソ連に侵攻



杉原千畝氏奥様杉原幸子さんの著書「六千人の命のビザ」より
 ゆきこ

1940年7月18日 早期から領事館前に人だかりが
 領事館前に集まった群衆の中から5人の代表者と話し合い彼らの状況を把握した。
 外務省には2度打電し窮状を訴えたが日本通過ビザ発行まかりならんとの回答

早期、カーテンの隙間を覗くと、ユダヤ人の群衆が目に見ゆ込んできた

1940年7月29日から日本通過ビザ発行開始(外務省の指示には従わず)
 (前述5人の方々はその後の多方面で活躍されている)

ソ連から退去命令が出ていた。
 すでにリトアニアは8月3日ソ連邦に取り込まれた

→同年8月25日まで 28日間+α
 (Wikipediaより)

(本省よりの数々の非難文)

貴殿ノ如キ取扱ヲ爲シタル避難民ノ後始末ニ窮シテ事情ナルニ付(昭和15年9月3日付)と本省は怒りも露わにし、さらに翌年も『カウナス』本邦領事ノ査閲(2月25日付)云々と、千畝は名指して厳しく叱責された。

→同年8月26日からは

連日の業務で疲れはてすぐには汽車に乗ることができず**ホテル・メトロポリス**(1899年建設)に移る。
 退去勧告ギリギリの9月4日までここに泊まる。ここにもビザ取得に多くがやってきた

1940年9月5日早朝ベルリンへ向かうカウナス駅までユダヤ人が来て列車が走りだすまで許可書を書き続けた

「ありがとう、私たちはあなたを決して忘れません。もう一度あなたにお会いします」

杉原千畝氏家族が8月26日から9月5日朝まで滞在したホテル(1899年に建てられる)
 実は偶然にも今回のツアーで宿泊したホテルであること後日判明!

ビザ不要の家族を含めて6000人の命を救う

ビザを得た人々のその後

カウナスでビザを取得してから大変な旅。金銭はほとんどシベリア内で費やした
2,3百人単位で移動し、先のメンバーが次に移動したことを確かめながら移動
シベリア鉄道料金は200ドル(通常の15倍)(ソ連は外貨獲得手段)

ユダヤ人難民救済会による資金援助もあり

1941年6月までに1万5千人のユダヤ人がハルビン丸で日本に渡ったとのこと
ジャパンツーリストビューロー(JTBの前身)はウラジオストク-敦賀間を往復させた
ソ連の領海を出た時にはユダヤ人の中で歌声が起きた。シベリア鉄道では歌うことも
できなかった

敦賀から神戸に向かいしばらく滞在。

(神戸には日本で唯一のユダヤ人組織である「神戸猶太協会」があった)

神戸から米国の船賃は40ドル、横浜からは50ドル

37

日本到着後は？

1000人ほどがアメリカやパレスチナに出国、
他は上海に送還されるまで日本滞在

太平洋戦争開戦 1941年12月8日

上海の租界(中国の外国人居留地)へ移動

日本滞在后難民たちが向かった上海の租界には、戦前よりスペイン系中心の
大きなユダヤ人のコミュニティがあり、ユダヤ人たちはそこで日本が降伏する
1945年(昭和20年)まで過ごすことになった。

上海では、ドイツの強硬な申し入れのもとにドイツを真似てユダヤ人ゲットー
が作られ、上海のユダヤ人たちはそこに収容されることになった。
上海が戦禍に覆われていたこともあり、終戦間際にはアメリカ軍機による空襲で
数十名が死傷した

(Wikipediaより)

38

杉原千畝氏は

その後ベルリンからチェコスロバキアへ
さらに東プロイセン⇒ルーマニア プカレストへ

プカレストで敗戦を迎え捕虜収容所へ
1年9か月かけて日本に戻る。

→外務省からはあなたの職はないと。⇒1947年退職

外務事務次官から口頭で「例の件」の責任を免官の理由として
告げられたという

戦後、千畝の消息を尋ねるユダヤ人協会からの問い合わせに対して、外務省は旧外務省
関係者名簿に杉原姓は三名しかいなかったにもかかわらず、「日本外務省にはSEMPO
SUGIHARAという外交官は過去においても現在においても存在しない」と回答。

39

転機(1968年)

領事館で会った5人の代表の一人ニシュリ氏が日本の大使館の参事官として赴任
スギハラセンボとして探していたが20年間外務省からは該当者なしとして扱われた

杉原千畝氏もその後のユダヤ人達がどうなったか気になっていたのでイスラエル
大使館に行っていた。しかし相手もわからず、住所だけを知らせていた。

結果1968年5月43日8月ニシュリ氏と28年ぶりに再会できた。

領事館で会った5人の代表の一人バルハフティック氏と1969年9月イスラエルにて
29年ぶりに再会。氏はイスラエルの宗教大臣となっていた

その後やはりビザで助かったシムキン氏が訪ねてきた。戦後日本に残り上海との間で
貿易商になっていた

40

(Wikipediaより)

1985年(昭和60年)1月18日、イスラエル政府より、多くのユダヤ人の命を救出した
功績で日本人では初め唯一の「諸国民の中の正義の人」として「ヤド・バシエム賞」
を受賞。

千畝の名前が世に知られるにつれて、賞賛とともに、政府の訓命に反したことに
関して、「国賊だ、許さない」など中傷の手紙も送られるようになった

同年11月、エルサレムの丘で記念植樹祭と顕彰碑の除幕式が執り行われる

1986年(昭和61年)7月31日、86歳でその生涯を閉じた

その後も数々の煮え切らない外務省や体制派の見解

まだ外務省に在職していた佐藤優は、『国家の罫』(2005)において、その名誉回復
すら「当時の外務省幹部の反対を押し切」ってなされたものであったとし、千畝の
不服従に対する外務省関係者の執拗な敵意の存在を証言

41

日本政府による名誉回復は

杉原氏亡くなった後 2000/10/10河野外務大臣より

これまでに外務省と故杉原氏の御家族の皆様との間で、
色々御無礼があったこと、御名誉にかかわる意思の疎通が
欠けていた点を、外務大臣として、この機会に心からお詫び
申し上げたいと存じます。日本外交に携わる責任者として、外
交政策の決定においては、いかなる場合も、人道的な考慮は
最も基本的な、また最も重要なことであると常々私は感じて
おります。故杉原氏は今から六十年前に、ナチスによるユダ
ヤ人迫害という極限的な局面において人道的かつ勇気のある
判断をされることで、人道的考慮の大切さを示されました。
私は、このような素晴らしい先輩を持つことができたことを誇
りに思っております。

— 2000年10月10日の河野洋平外務大臣による演説

(Wikipediaより)

42

📍 <2014年11月4日から休館、2015年4月頃リニューアルオープン> 杉原千畝記念館 岐阜県加茂郡八百津町八百津
 レジャー・エンタメ / 博物館、科学館 / 市区町村機関 / 公共サービス、各種団体
 3.8 ★★★★★ 3件 高校生以上 300円 / 中学生 100円 / 小学生 100円〜

お店情報 写真 クチコミ クーポン 地図



43

ラトビア 「百万本のバラ」原曲を訪ねる



44



ストリートミュージシャンが日本人とみると
 百万本のバラを演奏していた

45

作曲はラトビアのライモンド・パウルス(74)。ソ連からの独立を先頭に立って勝ち取り、文化大臣にもなった男だ。もともとは、母親が娘に歌う悲しい曲だった。原曲のサビはこうだ。
 ♪ マーリニャは与えた 娘に 長い人生を でも与え忘れた 娘に幸せを
 パウルスは否定するが、こんな解釈が語られる。マーリニャはラトビアの神話の女神を指し、娘はラトビアを指す。ソ連に従属するラトビアは幸福にならないという暗示だ、と。
 ラトビアは、先の大戦中にソ連に併合され、ほぼ半世紀にわたって支配された国である。

46

加藤登紀子による「百万本のバラ」として大ヒットしまでも歌われている。歌詞は貧しい絵かきが町中のバラを買い、恋した女優の窓から見える広場をバラで埋めつくしその心を伝えようとしたが成就しないという悲恋の歌。

♪…百万本のバラの花を、あなたにあなたにあなたにあげる…♪

「百万本のバラ」の原曲について今まで以上の情報を聞きたい確認したい、そして原曲CDを入手したい

作詞 L. Briedis
 作曲 R. Pauls いずれもラトビア人

1981年まだ大団ソ連邦の配下にあったラトビアでの歌謡コンテストで Aija KukuleとLi-ga Kreicbergaの2人 によって歌唱され優勝
 ラトビア独立はその10年後1991年8月(ソ連の承認は1991年9月)ですので、まさにひそかにささやくように歌わざるを得ないという時代背景

1982年ソ連では元歌の意味が分からずロシアの放浪の画家をモデルにしロシアの作家により「百万本の赤いバラ」として世に出た。
 原曲の詞とは全く異なった物語となった。

1987年加藤登紀子が「百万本のバラ」として歌う。歌詞はロシアの歌に沿う。

47

「百万本のバラ」原曲の歌詞

Dāvāja Māriņa

Kad bērniņā, bērniņā,
 Man tika pāri nodarīts,
 Es pasteidzos, pasteidzos,
 Tad māti uzmeklēt tūlīt,
 Lai iekertos, iekertos,
 Ar rokām viņas priekšautā,
 Un māte man, māte man,
 Tad pasmējusies teica tā:

Dāvāja, dāvāja, dāvāja Māriņai,
 Meitiņai, meitiņai, meitiņai mūžiņai,
 Aizmīrsa, aizmīrsa, aizmīrsa iedot vien,
 Meitiņai, meitiņai, meitiņai laimīti.

- 1) ラトビアのガイドさんの話ではマーラをラトビアの女神 (Goddess) とするのは 言い過ぎ。マーラはラトビアの森・自然の精、精霊 (Spirit) とのこと。
- 2) マーリニャはマーラを親しみやすくした呼称であること
- 3) マーラはラトビアでは女性の名前として多いこと
- 4) 微妙な違いはあるものの、独立10年前の歌として世に出たという意味、そして歌に出てくる娘とはラトビアそのものと考えていいでしょう。

49

エストニアって、どんな国？

旧ソ連というイメージが未だに強く残っているようで、皆様からはよく、「ロシア系の人たちですか」というご質問をよく受けます。エストニア人はフィン系というフィンランド人と同じ人種です。ですから、文化や商習慣は北欧の影響を強く受けています。しかしながら、その地理的に優位な事情から、歴史上多くの国々の支配を受けたため、各支配国の影響も少しずつ受けています。それでもひと言で表現するならば、「北ヨーロッパの自然を愛する素朴な人々」だと思います。



エストニアー

森の中でWiFiが息づく国

エストニアはコントラストが豊かな国です。原始のまま、未開の自然を目にできるようなところは、ヨーロッパでは数えるほどしかありません。ハイウェイから数百メートル入ると、そこは無垢の森。オオカミやクマ、そして山猫が自由に歩き回っています。

ワイヤレスインターネットは、バスや電車内でも利用できます。森の奥深くにある小さな農場でも世界のニュースがインターネットを

エストニアの遠く離れたところでも、大切なものを忘れたとしても、大きな問題ではありません。そのうちに、すぐに戻って来ます。

国土の多くが自然保護地域に指定されているエストニアは同時に、技術開発の先駆者でもあります。世界で知られるインターネット電話「スカイプ」の開発拠点、エストニアにあります。

せん。また、子教科書とともに、花束を片手に学方で、ポケットにあるのです。エ及率は120%に達しています。



51



歌の原での大合唱 (約10万人)



我が祖国はわが愛

日本語訳
梨木香歩
エストニア紀行より
新潮社

XXV laulupidu
XVIII tantsupidu
2-5 juuli 2009

- (後半のまとめ)
- 自分が自分であり続けること
 - それすら獲得することが困難なバルト三国の民
 - そのような中でも伝統文化の持つ強さ
 - Identityを表現できる場
 - 世代を超えだれもが参加できる場
 - それが「歌と踊りの祭典」

54